

軟X線照射花粉の受粉で無核化した‘トサブンタン’の 果実品質に及ぼすジベレリン処理の影響

又川浩司・田中満稔・小原敬弘・矢野臣祐

Effect of Gibberellin Treatments on Fruit Quality of Seedless
‘Tosa-Buntan’ Pummelo Pollinated with Soft X-ray Irradiated Pollen

Koji MATAGAWA, Mitsutoshi TANAKA, Norihiro OHARA and Shinsuke YANO

要 約

軟X線照射花粉の受粉で無核化した‘トサブンタン’果実に対するジベレリン処理が、果実品質に及ぼす影響を検討した。

1. 軟X線を照射しない‘ヒュウガナツ’花粉を受粉した‘トサブンタン’において、受粉30日後の幼果にジベレリン100～500ppmを散布処理すると、いずれの濃度においても果皮に葉害が発生し、着色が劣り、果実肥大は促進されなかった。
2. 750Gyの軟X線照射‘ヒュウガナツ’花粉を受粉した‘トサブンタン’において、受粉30～50日後の幼果にジベレリン100～500ppmを散布処理すると、いずれの濃度においても果皮に葉害が発生し、着色は劣ったが、果実肥大が促進された。
3. 軟X線照射花粉を受粉した‘トサブンタン’において、受粉50日後の幼果の果梗にジベレリンペーストを塗布すると、果皮の着色が劣り果梗は肥大したが、高い果実肥大促進効果が認められた。

キーワード：軟X線，花粉，無核，ブンタン，果実品質，ジベレリン